

# 活かす通信

2021年4月 (165号)

<http://www.toushi-club.com>

★★

巻頭言

元時事通信記者 篠田憲明

なれるか官邸の「顔」—小野日子内閣広報官

★★

「内閣広報官」、一般には聞き慣れない官職だが、妙な形で脚光を浴びている。所謂総務省幹部接待問題で同省内に第三者委員会を設置されて真相究明を迫られている菅義偉総理大臣の悩みは深い。疑惑の中心人物だった山田真貴子内閣広報官が激しい追究に体調を崩して引退した。その後任となった小野日子（ひかりこ）氏の任期が急上昇しており、同氏が「内閣の顔」となって支持率が下降気味の菅首相の窮地を救ってくれるのではとの期待が出ている程だ。政府は財務省の不祥事を期に2001年の省庁再編改革に際し「国家公務員倫理法」を制定、「李下に冠を正さず、瓜田に履を納れず」をモットーに①公務員は全体の奉仕者であって一部に対してのみの奉仕者ではない②職員は権限の行使に当たっては、いやしくも国民から疑惑や不振を招くような行為をしてはならない—などとして特に「利害関係者」との接触には留意し、接待はもつてのほかだ。

国民の疑惑を招いた前広報官の山田氏は「飲み会を断らない女」が「売り」だったという。山田氏の退任で後を継いだ小野氏は、「山田氏とは真逆の人」です。育児を理由に夜の会食を断り、所謂「ワーママ」を貫いた。外務省OBらしい。1988年外務省入省。キャリア組同期は25人で女性は1人だけ。雅子妃は1期上で研修留学先（オックスフォード大学）も同じとあって今でも交友があるとされ、秋篠宮殿下を介して美智子上皇とも知り合い、皇居のお茶会にも招かれたことも。また安倍晋三内閣時の内閣副広報官として安倍昭恵さんとも話し相手だったようだ。外務省幹部は「派手さはないが淡々と仕事をこなす、穏やかな性格なので敵も少ない」と褒める。内閣記者会と菅首相との記者会見も経験したが、「無難な船出」との評価が高い。ただ会見の進め方は前任者のやり方を踏襲しており、海千山千の内閣記者側が今後どのような対応をするか、不安材料もある。

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「香港について②～なぜ長寿世界 No.1 なのか?～」

★★

以下は、厚生労働省「令和元年簡易生命表」にあった、国・地域別平均寿命ランキング上位3位です。

男				女			
第1位	香 港	2019年	82.34年	第1位	香 港	2019年	88.13年
第2位	ス イ ス	2018年	81.7年	第2位	日 本	2019年	87.45年
第3位	日 本	2019年	81.41年	第3位	スペイン	2019年	86.22年

香港は、5年連続で長寿世界第1位に輝いています。意外ですね。余り生活環境が良さそうではなく、おまけに中国に返還されてからストレスが多くなったイメージの香港に住む人々が、何故つとに長寿で知られた日本人をも上回る長生きなのでしょう。因みに中国人の平均寿命は、中国国家衛生健康委員会の発表によれば、2019年に77.3年でした。

香港にある「医食同源」の考え方に基づく、冷たいもの避け、消化に良くて栄養補給しやすいものを摂取する食生活や、高度な医療、格安な医療費、街の活気なども明らかにその理由でしょう。しかし、私は次の4つの運動が香港の人の生き方を活性化し、長寿に寄与してきたと推測しています。

- (1) 身体の運動—香港ではよく毎朝公園などで数十名のお年寄りが写真のように**太極拳**に熱中している光景を目にします。また、高齢者の「外出好き」も健康長寿のポイントのようです。
- (2) 頭の運動—**麻雀**は近年こそ遊ぶ人も減っているようですが、結婚式の披露宴の前にも興じられるほど香港では一般的なテーブルゲームです。最近では認知症予防に効果があるとも指摘され、日本でも高齢者の間で人気になっているようです。更に、アメリカでも麻雀ファンが増えているようです。あの『プリティ・ウーマン』でスターの座をつかんだオスカー女優のジュリアン・ロバーツは、テレビのトークショーでリラックスの方法を問われ、「友達と週に一回は麻雀をします。麻雀の概念は、ランダムに牌を引き、混沌から秩序を生み出すことです。」と答えています。麻雀はなかなか深いですね。

- (3) 口の運動—香港の**飲茶**の雰囲気はとても活気あふれるものです。色々な点心を写真のようなワゴンから注文し、それらをプーワル茶などで次々に味わうことは日本ではできませんね（最近では香港でも飲茶レストランが減少傾向のようですが）。孤食ではなく、家族や友人と皆で大きなテーブルを囲んで、大声でおしゃべりしながら食事を楽しむ飲茶などの時間はとても元気をもらいます。
- (4) お金の運動—香港の人口は 750 万人程ですが、金融機関の数は日本より多いと言います。香港の人は、株、不動産、為替、貴金属など様々な投資物件での**資産運用**に絶えず抜かりなく目を配っています。投資のチャンスやリスクにとっても敏感で、お金の運動（エクササイズ）に長けています。

以上が私の考えた香港人の長生きの理由です。一言でいうと、香港の人は頭も身体もお金も、動かせるものは無駄なく運動させるということですね。残念ながら、民主化の運動は難しそうですが。

比べて日本人の場合は、上の 4 つの運動の中で、**お金の運動の不足**が顕著です。これからは香港を参考に、お金も銀行預金に引き籠りにせず、より積極的に外でエクササイズさせれば、身体、頭、心（気持ち）とお金の健康がバランス良く保たれ、より不安の和らいだ老後を迎えられるような気がしています。



太極拳



麻雀



飲茶



香港島の金融街

★★

## ムッシュ望月の政経・映画レポート

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映する相場

★★

### 映画から見える世相：

今年は昨年のコロナ禍とは異なり、毎週映画を観る機会に恵まれている。3月15日現在で26本を鑑賞しており、年間目標の120本は達成範囲と言える。2月のランキングの上位は「素晴らしき世界」、「ヤクザと家族」で、両作品とも反社会的勢力の仲間に入り、長い間の刑務所暮らし、出所後の更生の難しさを描いた作品である。「素晴らしき世界」では、主人公を見る目は厳しいものの温かく見守られ、生きていてよかったという喜びが感じられた。「ヤクザと家族」では、昔の仲間の厳しい生活、育ててくれた親分の生活を見るにつけ、恩返しを考え、元の義理と人情の世界に戻ることに。ヤクザだけではなく、今を生きることの閉塞感に悩む人も多いかと思う。仲間がいるだけ、話し相手がいるだけで強く生きる事は出来る、コロナ禍で閉じこもりがちとだが心だけはオープンでいきましょう！！3月に入り山内マリコの同名小説の「あの子は貴族」を観た。同じ都会に住みながら全く異なる生き方をする2人の女性が主人公。都会に生まれ、箱入り娘として育てられ、結婚こそが幸せと信じて疑わない華子。富山から猛勉強の末慶応大学に入学するも、資金が続かず働くことを余儀なくされた美紀、今も都会の中で生き抜く。結婚をするも満足できず離婚に踏み切り自分の足で歩く道を見つけた華子、映像演出・脚本とも丁寧で良作品といえる。

### 相場雑感：

グロース関連の東証マザーズ銘柄を見てみると、発表前後にピークをつけて約1ヵ月の調整をしている。そのような銘柄の中に、次の相場のスタートなる銘柄がある。グロース株からバリュー株へのシフトも起き、化学、鉄鋼、商社、海運等の株が上昇のトレンド入り、更に緊急事態宣言下で動きが悪かった旅行・外食・サービスも解除の動きが見えだしたところで昨年2月高値水準までの回復を見せている。このメールが届くタイミングでは、遅きになっている可能性が強い。そこで、長期のテーマである洋上風力銘柄に注目したい。政府は、2030年までに1000万キロワット、2040年までに浮体式まで含め4500万キロワットまでの出力目標をかかげている。この目標は原子力発電産業に匹敵するぐらいの産業にしようとする壮大なテーマである。特に、海の上に風力発電装置を設置する洋上風力発電が注目される。洋上風力発電の利点は、陸上に比べて、より大きな風力を持続的に得られること、その為安定的な電力供給が可能となる。現在の洋上風力の発電能力は2018年末で6.5万キロワットと世界全体の0.3%に過ぎ

ないが、仮に成長目標通りを達成するとすると、目標が 4500 万キロワットとなると、ここから市場が 700 倍弱まで拡大する超有望なマーケットとなる。銘柄を絞り込むだけで、金融の引き締めに一喜一憂することもなさそうだ。

★★

## 株式投資力クイズ

ムッシュ望月

今月は渋沢栄一からの出題です

★★

今月は新しき始まった NHK 大河ドラマ「渋沢栄一」の時代からの出題です。

- 1, 渋沢栄一による維新の 3 傑とは誰か、間違いを一つ選択ください。
  - A : 伊藤博文
  - B : 大久保利通
  - C : 西郷隆盛
  - D : 山縣有朋
- 2, 福沢諭吉の作品ですが、間違いを一つ選択下さい。
  - A : 西洋事情
  - B : 雨夜譚(あまよがたり)
  - C : 学問のすすめ
  - D : 福翁自伝
- 3, 渋沢栄一が訪れたパリ万博についての記述で、間違いを一つ選択下さい。
  - A : 参加した万博は 1867 年
  - B : その当時のパリ万博入場者は 680 万人
  - C : 最初の万博は 1851 年のロンドンで開催された
  - D : フランスは開催に積極的で 1900 年までの 50 年の間に 10 回開催した
- 4, 渋沢栄一についての記述ですが、間違いを一つ選択下さい。
  - A : 1873 年に 34 歳で大蔵省をやめる
  - B : 同年に第一国立銀行の総裁に就任
  - C : 第一国立銀行には国の資本が入った
  - D : 第一国立銀行は現在のみずほ銀行である

5, 渋沢栄一に関する記述である、間違いを一つ選択下さい。

A : 渋沢栄一は日本産業界改革の旗手である、481 社の設立の関わった

B : 最初に目をつけたのは紡績と鉄道であった

C : 人生哲学は学んだことを実地活かしてこそ学問

D : 渋沢の先見性は、鉄道は私設会社で経営すべきである

★★

## 4月のイベント＋お知らせ

★★

4月のスケジュール：

04月02日（金）：17：00～ラルゴ投資クラブ、イカス事務所

04月07日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

04月13日（火）：16：00～イカス投資塾（昼間）、イカス事務所

04月15日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

04月16日（金）：14：00～楽々投資クラブ、リモート

04月17日（土）：15：00～スペリオル投資クラブ、イカス事務所

04月20日（火）：18：30～イカス投資塾（夜間）、イカス事務所

04月22日（木）：16：00～東京3E投資クラブ、リモート

04月27日（火）：19：00～アマルフィ投資クラブ、リモート

☆投資クラブの会員の年間運営費 36,000 円です。イカス投資塾の参加費は1回 3000 円で、昼間講座（毎月第2火曜日午後4時から2時間）と夜間講座（毎月第3火曜日午後6時30分から2時間）があります。

☆当メルマガの配信登録、アドレス変更、配信解除連絡はホームページからお願い致します。 [www.toushi-club.com/fmerumaga.htm](http://www.toushi-club.com/fmerumaga.htm)

☆具体的な銘柄をご希望の場合は週刊有料メルマガをお申込みください。

週刊有料メルマガ：年間費用 24,000 円、毎月日曜日配信です。

[cgi.toushi-club.com/mmoushikomi.htm](http://cgi.toushi-club.com/mmoushikomi.htm)

---

クイズの回答：

1, D で、山縣有朋

2, B で、雨夜譚(あまよがたり)

3, D で、5 回である

4, C で、国の資本は入っていない

5, B で、最初に関与したのは王子製紙である

★★

イカス通信発行人：特定非営利活動法人イカス [www.toushi-club.com](http://www.toushi-club.com)

\*当メールマガジンについてのご意見は以下のメールにお願いします

メール：[staff@toushi-club.com](mailto:staff@toushi-club.com) ☎：03-3432-5859 FAX:03-3432-5869

発行責任者：木下宇一郎

★★